

事例

高齢者のAさんは軽度の認知症があります。歩行が不安定なためトイレへは付き添い、衣類の着脱の一部介助を行っていますが、時折間に合わず、失禁して下着やズボンを汚すことがあります。本人の希望でオムツはしていませんでした。

Aさんは昼食後、デイルームへ移動直後に失禁してしまいました。複数の介護職員が他の利用者もいるデイルームで着替えや掃除をしながら、笑顔で「うわー、汚い」「もう認知入っているんだからしっかりしてよ」「だから、オムツにしろさって言うのに」「自分でできないんだから、いうこと聞けばいいのに」等と言っています。

そこに通りかかったフロアリーダーも職員が笑顔で話している様子をにこやかに聞いており、特に気にする様子はなく通り過ぎていきました。

フェーズ 1

＜気になる言動を考えてみよう＞

・事例を読んで、気になる言動は何でしょうか？

フェーズ 2

＜高齢者の気持ちを考えてみよう＞

・そのような言動をされて高齢者はどう感じたでしょうか？

- 考えてみようポイント：一方的な思いでケアをしていませんか？
- ：高齢者の尊厳を傷付けていませんか？



虐待の類型を考えてみよう。

フェーズ 3

＜職員の気持ち、言動に至った職員の要因や背景を考えてみよう＞

・なぜ、そのようなことが起こったのでしょうか？原因を含めて考えてみましょう。

フェーズ 4

＜対応方法を考えてみよう＞

・このような言動や状況を見聞きした時、どうしますか？

フェーズ 5

＜できることを考えてみよう＞

- ・そのようなことが起こらないためにできることを考えてみましょう。
- ・実現可能性の有無は考えません。
- ・出た意見はすべて付箋に記載する。

フェーズ 6

＜実現する方法を考えてみよう＞

・「個人で」「チームで」「組織で」対応することに分けてみましょう。